

2019 1・2月号 No.138

イノシシ

ってどんな生き物？

秦野ビジターセンター

今年の干支は亥。イノシシの年ですね。イノシシと聞いてどんな言葉を思い浮かべますか？「猪突猛进」「猪武者」などなど。猛烈な勢いで突き進むことやがむしゃらにやり抜くことを意味することが多いようです。実際のイノシシはどんな生き物でしょうか？

イノシシは警戒心が強く、臆病で普段はヒトの前に姿を現しません。しかし、緊急事態になれば、物凄い勢いで向かって来ます。嗅覚が鋭く、パワーシャベルの様に地面を掘り返しエサを探す力持ちな鼻、黒褐色の剛毛をもち、1mも垂直跳びができる身体能力を持っています。

実はこのイノシシ、ビジターセンターのある秦野戸川公園周辺でもよく痕跡が見られる生き物の一つです。地面を掘り返した跡や泥浴びをした跡が見られます。河原に下りていく獣道にはフンが落ちていることも。痕跡を観察できるのは嬉しいけれども、畑を荒らすこともあるため農家さんには大問題です。イノシシ年、野生動物との付き合い方や自然環境について考えてみては。(山口)



鼻で地面を掘ってエサ探し



泥浴びあとの親子

【イベント案内】

秦野ビジターセンター

特別展「版画でえがく丹沢」

内容:温かみのある版画作品をとおして、丹沢の風景をご紹介します。
版画制作:尾作京子氏 期間:2018年12月15日(土)～2019年2月11日(月・祝)
場所:秦野ビジターセンター展示室 開館中はいつでもご覧いただけます。※入館無料
開館時間:9:00～16:30 期間中の休館日:12月29日(土)～1月3日(木)
【問い合わせ】神奈川県立秦野ビジターセンター

秦野戸川公園・山岳スポーツセンター・秦野ビジターセンター

3館合同イベント「みんなで登る・学ぶ・作る！」

内容:丹沢山麓の自然ゆたかな秦野戸川公園で、クライミング体験、ネイチャーウォーク、花炭を使ったグラスサンドアートを楽しみます。
日時:2019年2月16日(土曜日) ※荒天中止
時間:9時30分から15時45分
場所:県立秦野戸川公園内 各センター
対象:小学生とその保護者 30名 (応募者多数の場合は抽選、キャンセル待ちあり)
参加費:1人 1,000円(指導料、材料費、保険料含む)
応募期間:2019年1月21日(月曜日)から2月6日(水曜日)必着
申込方法:往復ハガキにて秦野戸川公園まで
送付先:〒259-1304 秦野市堀山下1513 秦野戸川公園パークセンター 三館合同イベント事務局宛 (記載内容)参加者全員の氏名、ふりがな、年齢、生年月日、住所、電話番号※クライミング用保険に加入する為、記入漏れのないようお願いいたします

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)
〒258-0201 足柄下郡山北町中川867-2-9
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまで
お問合せください。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebook
ページ公開中! 是非、最新の情報をご覧ください。

冬はじっくり観察

西丹沢ビジターセンター

木々の葉が落ち、下草も枯れて風景が緑色から茶色になってしまう冬にこそ観察しやすいものがあります。

ある日、奥中川園地を歩いていると茶色くなった落ち葉の上にいくつもの小さい白い物が見えました。ホタテ貝などの表面についている白いウネウネとしたゴカイの仲間の殻のようにもみえます。調べてみたら、タケウチトゲアワフキの幼室でした。アワフキムシの仲間なのに泡でなく、硬い筒状のものを作り幼虫が中で育つそうです。シナノキの細い枝に作るので風などでたくさん落ちてきたようです。

また、ウスタビガやヤママユガの仲間はきれいな黄緑色の繭を作りますが、葉が生い茂っているときは見つけづらく、落葉してしまった木では一際目立ち見つけやすいです。

木や岩に付く地衣類は下草が枯れると近づけるので観察しやすくなります。不思議な発見を探して、じっくり観察をしてみてください。(木村)



タケウチトゲアワフキの幼室



ウスタビガの繭



サルオガセの仲間

冬の1枚 箱根ビジターセンター



箱根を代表する逆さ富士



箱根ビジターセンター園地

箱根と言えば、風光明媚な芦ノ湖と富士山。外国のお客様とお話していても、必ず「富士山」ということばが出てきます。

春から秋にかけては、恥ずかしがり屋の富士山も、最近澄んだ空気の中、よく顔を覗かせてくれています。だんだんと朝に夕に気温が低くなり、裾まで広く積もった冠雪の富士山を眺める長い冬の到来。と思いきや、これを書いている12月上旬には全国的な夏日が観測され箱根でも暖房を使うことなく、1日が終わりました。

暖冬と予測される今年の冬、箱根はどうなるのでしょうか。思い返すと、今秋のはじめも台風や塩害の影響で

紅葉を心配していました。しかし、後半になるにつれて例年ほどではないにしても、風の影響を受けにくかった谷間の木々を中心に、美しく色付いている姿を見せてくれました。

どんな状況でもたくましく生きている自然界、私自身ここでの初めての冬にどんなものに出会えるのか楽しみにしています。

どうぞ暖かい服装で、登山の際には軽アイゼン等滑り止めを、雪や凍結の道路情報にもお気を付けて、冬ならではの箱根で、とっておきの1枚をカメラと目におさめてください。(志岐)